授業科目	＊キリスト教と西南女学院のあゆみ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	浅野　嘉延、東　彩子、金谷　めぐみ、神崎　明坤						
授業概要	この授業は、西南女学院の歴史を知り、創設者をはじめ主要な宣教師たちの働きや精神を学ぶことから、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深め、「西南女学院生」としての自己形成を深めることを目的とします。 日本におけるキリスト教に基づく女子教育について概観した上で、各回では主に、西南女学院の発展のために主要な働きを担った人物を取り上げ、その人生や信仰・思想を学ぶことにより、受講生が西南女学院で学ぶ意義を発見していきます。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	キリスト教に基づく女子教育の意義を理解した上で、西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。 1. キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる。(DP1-1) 2. 西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。（DP1-1） 3. 設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。(DP4-1)
理想的レベル	標準レベルに加え、設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	80%	クラスポートフォリオ
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU10103J EN10103J TO10103J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業で示された文献などを読み、興味や関心、疑問点、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション キリスト教に基づく女子教育とは 担当：浅野嘉延・東彩子

第 2 回	西南女学院設立を現実とする為に戦った クラーク夫妻の信仰と生涯 外部講師：Russ Borg
第 3 回	西南女学院創設者Ｊ．Ｈ．ロウの偉業 外部講師：Russ Borg
第 4 回	西南女学院第二代院長 M.L.ボールデン夫人の日本での働き（オンデマンド） 外部講師：Russ Borg
第 5 回	建学の精神「感恩奉仕」と西南女学院 担当：神崎 明坤
第 6 回	危機の時代の救済者、吉田敬太郎の信仰と生涯 外部講師：永町友恵
第 7 回	西南女学院とキリスト教音楽 担当：金谷めぐみ
第 8 回	WMU 総主事キャスリーン・マロリーの生涯 担当：東彩子
テキスト	配布プリント
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	W.M.ギャロット『要』(西南女学院創立 50 周年記念) 『西南女学院 70 周年史』 『丘の上の灯：原松太「自叙伝」からの抜粋』　（西南女学院創立 90 周年記念） 湊晶子『今、あえて何故女子教育か』(2009) Mary Neal Clarke：Letters from Lucile ～life and letters of Lucile Daniel Clarke(2005) Ussery, A.W.,& Hunt Alma：The Story of Kathleen Mallory(1956)
課題に対するフィードバックの方法	各課題については Google Classroom より採点し、返却いたします。
学生へのメッセージ・コメント	授業で紹介する文献やインターネットのサイトにあたり、自ら学びを深め、 まとめのレポート執筆に向けて、知識を積み重ねていくようにしましょう。